

年頭の挨拶

警察庁生活安全局長 檜垣 重臣



令和7年の年頭に当たり、日本防犯設備協会及び会員の皆様並びに防犯設備士の皆様には、健やかに新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、日夜たゆまぬ御努力をいただいておりますことに對し、心から謝意を表する次第であります。

さて、昨今の治安情勢を見ますと、刑法犯の認知件数は、戦後最少となった令和3年を底に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の令和元年の水準に近づきつつあります。

一方で、子供や女性が被害となる犯罪や高齢者を狙った特殊詐欺は依然として後を絶たないほか、サイバー空間における脅威も極めて深刻な情勢にあります。また、最近の特徴として、犯罪実行者募集情報に応募した者等による極めて悪質な強盗事件等が多発しているほか、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺による被害の顕著な増加や太陽光発電施設における銅線窃盗をはじめとする金属盗の認知件数が急増し、これらの犯罪には「匿名・流動型犯罪グループ」の関与がうかがわれるなど、治安情勢は依然として大変厳しい状況にあります。

警察といたしましては、時代の変化に伴い、新たな脅威や犯罪形態が次々と生じている中で、治安課題を敏感に察知し、先手先手で対策を講じていくことが必要であると考え、組織の総力を挙げて各種の取組を推進しているところであります。他方で、安全で安心して生活できる社会は、独り警察の取組だけで実現できるものではありません。犯罪の起きにくい社会づくりに向け、皆様をはじめ、関係団体、事

業者、地域住民の方々が、より一層連携・協働して防犯活動に取り組み、地域全体の防犯力を強化していくことが極めて重要であると言えます。

具体的には、防犯カメラ等の防犯機器・防犯設備の普及や建物の構造を犯罪防止に配慮したものにすするハード面の対策はもちろん、広報啓発等の防犯意識の向上に向けた取組を始め、地域の住民や事業者による自主防犯活動への支援などソフト面の対策を併せて推進していくことが必要であります。

皆様におかれましては、これまでも防犯カメラや防犯灯等の優良な防犯機器・防犯設備の普及促進、また防犯優良マンション認定制度の推進といったハード面の対策と、防犯アドバイザーによる防犯講話等のソフト面の対策についても積極的に取り組み、安全で安心して生活できる社会の実現に向け幅広く御活躍いただいていると承知しております。引き続き地域社会と連携したハード面、ソフト面双方の対策に取り組んでいただき、安全で安心な社会に向けて御尽力いただきますようお願い申し上げます。

また、貴協会の中核事業であるRBSS（優良防犯機器認定制度）の高度機能としてAI画像解析機能を追加し、AIを搭載した防犯カメラシステムの認定運用を開始されるなど、着実な成果を挙げられておられることに、心から敬意を表するとともに、地域社会の防犯対策において、更に大きな役割を果たしていただけることを期待しております。

結びに、本年が皆様にとりまして、良き年となりますよう御祈念申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。